

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科	科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義	
科 目 名	学習認知心理学	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30	(1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生	学期及び曜時限	後期	教室名		
担 当 教 員	春名帝亮					
実務経験と その関連資格	特別養護老人ホームにて、臨床心理士として心理検査やカウンセリングの業務を中心に3年間勤務した。 その後、大学病院の医局研究員として、心理統計・解析・心理検査・カウンセリングなどの業務に3年従事。並行して、 心療内科・精神科のクリニックにて思春期～高齢者の方を対象にカウンセリングや心理検査の業務を中心に2年以上 勤務している。また、治験業務を行っており、統合失調症患者や一般群に対しての心理検査業も実施している。臨床 心理士資格所持。日本心理臨床学会、日本基礎心理学会に所属。					
《授業科目における学習内容》						
この講義では、認知心理学に関する知識を習得し、それを基に対人理解やコミュニケーションをするための見立てを学びます。また、言語聴覚士 を目指す学生として、人間のこころの仕組みを深く学び実践に活かすことを目指します。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験100％ 状況により定期試験を期末レポートに変更する可能性があります。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
山田弘幸(編)『言語聴覚士のための心理学』医歯薬出版株式会社						
《授業外における学習方法》						
毎回の講義をまとめておくこと。						
《履修に当たっての留意点》						
本講義で扱うことは、皆さんが何気なく行っている認知や学習の科学的なメカニズムについてです。ぜひ自分のこれまでの経験や体験と結び付 けながら学んでほしいと思います。科学と日常のつながりを理解できれば、よりよい学びと実践につなげることができます。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 1 回	授業を 通じての 到達目標	学習認知心理学の概要を理解する		教科書・資料	「言語聴覚士のための心理学」 pp8-9	
	各コマに おける 授業予定	オリエンテーション:講義の目的と到達目標、評価方法(定期試験、小 テスト)の説明。				
第 2 回	授業を 通じての 到達目標	記憶とは何かを理解する		教科書・資料	「言語聴覚士のための心理学」 pp58-64	
	各コマに おける 授業予定	記憶:長期記憶、短期記憶				
第 3 回	授業を 通じての 到達目標	記憶の符号化、忘却とは何かを理解する		教科書・資料	「言語聴覚士のための心理学」 pp65-69	
	各コマに おける 授業予定	記憶:符号化、忘却				
第 4 回	授業を 通じての 到達目標	古典的条件づけについて理解する		教科書・資料	「言語聴覚士のための心理学」 pp39-45	
	各コマに おける 授業予定	学習:古典的条件づけ、オペラント条件づけ				
第 5 回	授業を 通じての 到達目標	モデリング、動機づけについて理解する		教科書・資料	「言語聴覚士のための心理学」 pp45-57	
	各コマに おける 授業予定	学習:モデリング、動機づけ				

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	思考とは何かを理解する	教科書・資料	「言語聴覚士のための心理学」 pp71-75
	各コマにおける授業予定	思考:問題解決、概念		
第7回	授業を通じての到達目標	思考(表象、推理)の概念を理解する	教科書・資料	「言語聴覚士のための心理学」 pp75-83
	各コマにおける授業予定	思考:表象、推理		
第8回	授業を通じての到達目標	今までの学習を振り返る	教科書・資料	小テストに向けて第2回～第7回 までの範囲の復習
	各コマにおける授業予定	小テスト:第2回～第7回の復習		
第9回	授業を通じての到達目標	感覚とは何かを理解する	教科書・資料	「言語聴覚士のための心理学」 pp12-18
	各コマにおける授業予定	感覚:感覚の種類		
第10回	授業を通じての到達目標	感覚の測定方法を理解する	教科書・資料	「言語聴覚士のための心理学」 pp18-25
	各コマにおける授業予定	感覚:感覚の測定		
第11回	授業を通じての到達目標	知覚とは何かを理解する	教科書・資料	「言語聴覚士のための心理学」 pp27-31
	各コマにおける授業予定	知覚・認知:知覚の種類、錯覚		
第12回	授業を通じての到達目標	認識・対人認知について理解する	教科書・資料	「言語聴覚士のための心理学」 pp32-38
	各コマにおける授業予定	知覚・認知:認識、対人認知		
第13回	授業を通じての到達目標	言語コミュニケーションを心理学的に理解する	教科書・資料	「言語聴覚士のための心理学」 pp85-88
	各コマにおける授業予定	言語:非言語情報、コミュニケーション		
第14回	授業を通じての到達目標	言語機能と表象について理解する	教科書・資料	「言語聴覚士のための心理学」 pp88-92
	各コマにおける授業予定	言語:言語理解と表象		
第15回	授業を通じての到達目標	全ての講義を振り返る	教科書・資料	小テストに向けて第9回～第14 回までの範囲の復習
	各コマにおける授業予定	小テスト:第9回～第14回の復習		